ブロック別の動向

前月と比べたDI値の動き　↗ 改善　→ ほぼ横ばい　↘ 悪化

↘ 北海道	**北海道は、悪化**。建設業では、原材料費や燃料費の高騰などが響き、採算が悪化した。土木工事の事業者からは、技術者の高齢化が進む中、事業継続に向けて若手の採用や人材確保が重要な課題となっている、との声が聞かれた。製造業では、原材料やエネルギー価格の高止まりの影響を受け、食料品製造業を中心に売上・採算が悪化した。
↘ 東北	**東北は、悪化**。小売業では、物価高に伴う消費者の節約志向の高まりを受け、スーパーを中心に業況が悪化した。製造業では、原油高に伴う原材料費や光熱費の高止まりによる影響で、プラスチック製品関係などで売上・採算が悪化した。製材・木製品製造の事業者からは、新築住宅需要の低迷により受注が大幅に落ち込んでいる、との声が聞かれた。
→ 北陸信越	**北陸信越は、ほぼ横ばい**。建設業では、公共工事は堅調なものの、民間設備投資の停滞や人手不足が重荷となり、設備工事業を中心に採算が悪化した。一方、卸売業では、暑さが和らぎ客数が増加した小売店の需要が持ち直したことで、売上・採算が改善した。農畜産物卸売の事業者からは、天候不順により野菜などの出荷が減少していることに加え、バナナなどの輸入果物も円安の影響で販売が伸び悩んでいる、との声が聞かれた。
→ 関東	**関東は、ほぼ横ばい**。サービス業では、秋の行楽シーズンの到来などを背景に、宿泊業を中心に売上・採算が改善した。飲食店からは、ハレの日の利用や宴会需要などは戻りつつあるものの、長雨に伴う野菜などの食材価格の高騰が営業の負担となっている、との声が聞かれた。一方、卸売業では、金利上昇に伴う設備投資の停滞などを背景に、機械器具卸売業を中心に売上が悪化した。
↗ 東海	**東海は、改善**。建設業では、自動車関連の設備投資需要の底固さに加え、価格転嫁が進展したことなどを背景に、売上・採算が改善した。サービス業では、秋の観光の活発化により、旅行業を中心に売上が改善した。ソフトウェア業の事業者からは、多発するサイバー攻撃への対応としてデータのバックアップを進めるなど、危機管理や信頼獲得に向けて取り組んでいる、との声が聞かれた。
↘ 関西	**関西は、悪化**。製造業では、消費者の節約志向の高まりにより衣料品や履物の販売が落ち込み、繊維製品を中心に売上・採算が悪化した。卸売業では、相次ぐ台風や天候不順による農作物の供給不足や価格高騰などが重荷となり、飲食料品卸売業を中心に売上が悪化した。農畜産物卸売の事業者からは、長雨や日照不足で、キャベツや白菜などの葉物野菜が生育不良となり価格が異常高騰している、との声が聞かれた。